



Bass Compressor

取り扱い説明書



(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Introduction

Quick Start

The Basics of Compression

Controls

Sidechain?

Sidechain High Pass Filter

Sidechain connector jack

Parallel Compression

起動時のバイパス状態を変更する

電源について

Specifications

Introduction

私たちが2011年にオリジナルのCompressorをリリースすると、それまで一般的だったシンプル過ぎるコントロールの典型的なコンプレッサーペダルに変わり、ギターやベースプレイヤーの新しいフェイバリットとなりました。オリジナルはギターだけでなくベースでも最高のサウンドでしたが、私達は更に高みを目指します。Bass Compressorの誕生です。

ゲインリダクションのメーター、独立したアタックとリリース設定、パラレル・コンプレッションのためのMIXノブ、外部サイドチェインインサートなど、ハイエンドのスタジオ機器でしか通常見られないフルレンジのコントロールと機能を全て網羅しています。更に今回フルに調整が可能なサイドチェイン・ハイパスフィルターと、マイルドなトーンシェイプと倍音の質感を加える2ポジションの”tone + colour”サーキットを加え、ベースに最適な美しいキャラクターを付加することが可能になりました。

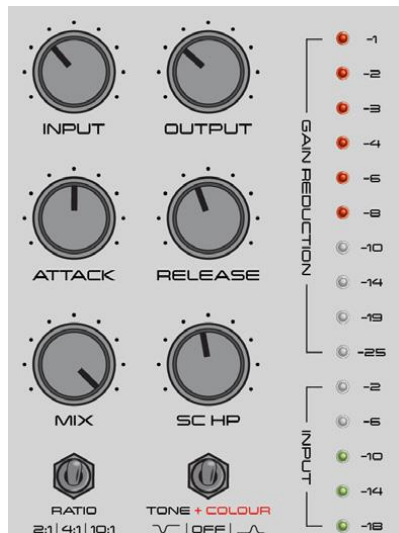
Bass Compressorが同じようにあなたのフェイバリットとなればとても嬉しいです。そして、Empress Effectsを選んでいただいております。

-Steve Bragg

Quick Start

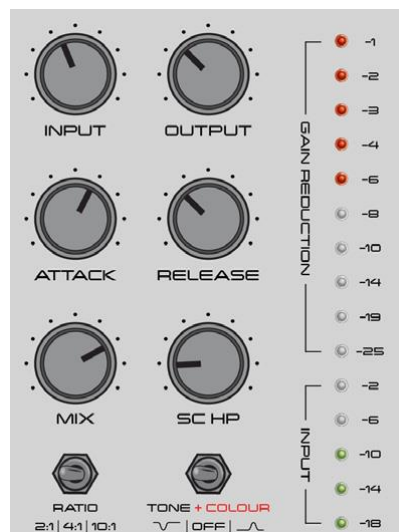
Added Control:

プレイのダイナミクスを残しつつ、自然なコンプレッションとサステインを加える定番の設定です。Inputレベルは最もラウドにプレイするときにゲインリダクションメーターが 8dB を示すように設定してください。



Smooth & Warm:

スムーズでマイルドなコンプレッション設定で、透明感がありつつダイナミックなコントロールを可能にしています。僅かなミドルスクープと倍音の質感を付与したリッチなキャラクターです。



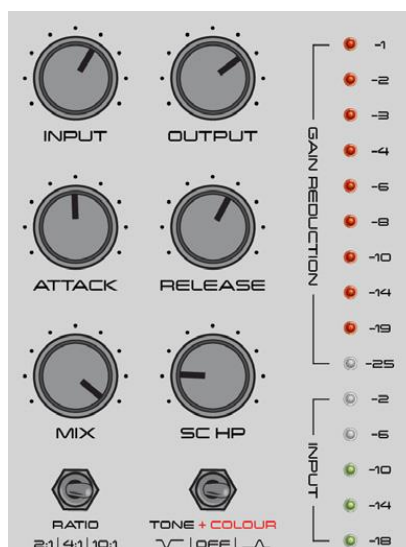
Slappa Da Bass:

ヘビーなコンプレッション ratio でサウンドを制御します。スローなアタックと速いリリースで、スラップベースに最適なパーカッシヴなサウンドを明瞭に響かせます。



Level & Grind:

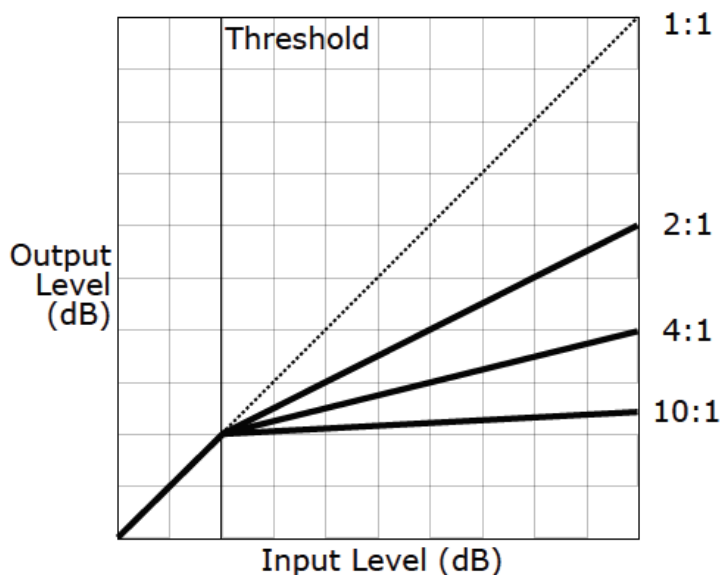
レベルを均一化するリミッターに近いセッティングです。ゲインを強力に抑えつつ、ミッドブーストと倍音と加えてベースに存在感と魅力的なキャラクターを与えます。



The Basics of Compression

コンプレッションは全体のサウンドのトリートメントやサステインの増強、ノートの響きを明瞭にしたり、様々なエフェクト効果を追加することができます。

スレッシュホールドよりも下のゲインの信号は増幅し、逆にスレッシュホールドより上の信号はレベルを下げ、オーディオレベルの差を埋めることでサウンドを補正するのが、基本的な使用方法です。



Ratio はスレッシュホールドを超える信号が通過したときの、ゲインリダクションの量を設定します。4:1 の ratio では 4dB の信号がスレッシュホールドを超える度、1dB までリダクションされて出力されます。同じように、10:1 ratio では 10dB の入力信号がある度、1dB までリダクションされて出力されます。

Controls

Input: コンプレッサー回路へ送られる信号量を設定します。高く設定するとより強いコンプレッションになります。

Attack: 入カ信号がスレッシュホールドを超えたとき、ゲインリダクションするまでのアタックスピードを設定します。ノブを右へ回すとアタックタイムが増加します。範囲: 50 μ s - 50ms

Mix: ドライ信号とウェット(コンプレッション)信号のミックスレベルを設定します。右回しきりで 100%ウェット、左回しきりで 100%ドライとなります。ドライ信号をブレンドすることで、コンプレッション時に失われがちなダイナミクスを強調し、生き生きとしたサウンドに貢献します。このテクニックはパラレル・コンプレッションと呼ばれ、ドライ信号のニュアンスを失うことなくサステインの増強が可能です。

Output: 出力レベルを設定します。このパラメーターはコンプレッションに影響しません。コンプレッション時に失われるゲインを補正したり、ソロのためのブーストとしても使用できます。

*Empress Effects は全てのベースソロを応援しています！

Release: 信号がスレッシュホールドを下回ったとき、コンプレッションされた信号が本来のレベルへ戻るまでのリリーススピードを設定します。ノブを右へ回すとリリースタイムが増加します。範囲: 50ms - 1s

Sc hp: フルに調整が可能な、サイドチェーンからの低域をフィルターするハイパスフィルターです。ノブを右へ回すと、フィルター周波数が 20Hz から 400Hz の間で増加します。

Ratio: ゲインリダクションの圧縮度合いを決定します。

2:1 - 非常にトランスペアレントで、マイルドなゲインコントロールに最適。

4:1 - 多くの状況に対応する一般的な設定。透明感あるサウンドながら幅広いコンプレッションが可能。

10:1 - リミッティングに近い強いコンプレッション。

Tone + Colour: 左ポジションは 500Hz のミッドレンジカット、右は 2kHz のアッパーミッドのブーストとなります。どちらのポジションも同時に”Colour”回路を有効にし、シグナルにリッチな倍音を付加してキャラクターを増強します。

*“Colour”回路はどちらかのポジション、または両方でオフにすることもできます。Colour 回路無しの Tone 設定が好みの場合は、内部の dip スイッチを使って設定してください。

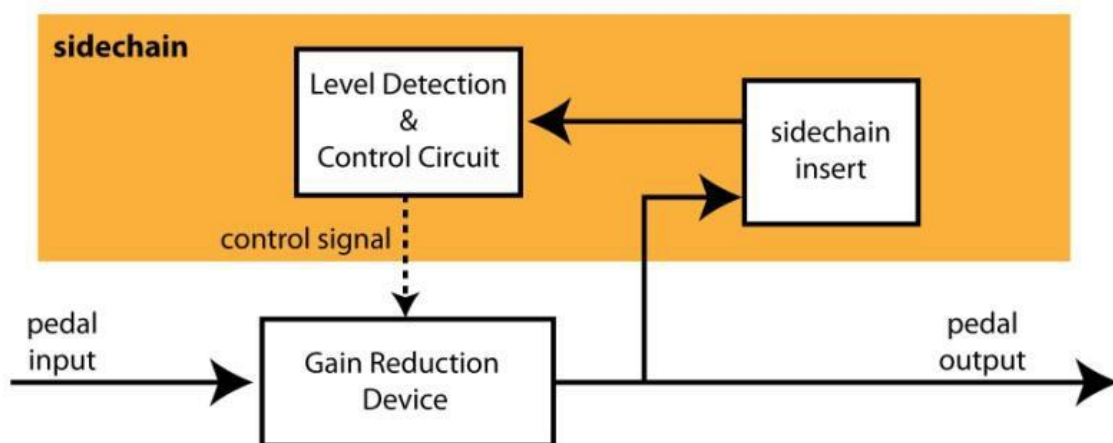
Bypass Stompswitch: LED が点灯時 Compressor はオンになりコンプレッションが行われます。LED がオフのときは Compressor はバイパスされています(トウルー・バイパス)。

Sidechain?

サイドチェインはメインの音声回路以外の経路のこと、コンプレッサーにおいては圧縮具合をコントロールする回路を指します。コンプレッサーは音声信号を検出/解析し、それを基にどれくらい圧縮するかを決定します。この信号を検出/解析する経路がサイドチェインです。

そして、検出する音声信号を加工すれば、圧縮動作に変化を付けることができ、自然で滑らかなコンプレッションにしたり、エフェクティブなコンプレッションにしたり、コンプレッサーの反応を精密に調整することができます。

COMPRESSOR mk2 / BASS COMPRESSOR はサイドチェイン経路に HPF を設けることで、コンプレッション動作にバリエーションを持たせています。



Sidechain High Pass Filter

Sidechain HPF（ハイパスフィルター）ノブを使うと、高域のコンプレッションを低域にまで適用することを緩和ができます。これにより不必要な過剰なコンプレッションを避け、高域には適切なゲインリダクションを行いつつ、低い帯域ではダイナミクスを失わない瑞々しいサウンドを楽しめます。

ベースは周波数レンジが広く、音域によるエネルギー密度の差が大きいためハイフレットポジションで良い感じになるように設定しても、ローポジションではコンプレッションがかかりすぎて音が細くなってしまい、全ての音域で満足できる設定にはなかなか辿り着けません。サイドチェイン HPF を活用すると、この音域による感度の差を調整することができます。この時、メインの音声に HPF は効いていませので音色を保ったまま、広い音域にわり違和感のないコンプレッションサウンドを作ることができます。BASS COMPRESSOR はフィルターの高域を無段階で可変できますので最も効果的なポイントで使用することが可能です。

Sidechain connector jack

ペダル上部にある sidechain 接続用のジャックを使えば、外部のデバイスでサイドチェインコントロールが可能になります。

外部に EQ を用意すれば、特定の帯域に反応しやすくしてピーキーなうるさい部分を抑えたり、中域のみに反応するコンプレッションを作ったりと応用が可能です。外部のオーディオソースをつなげば、外部の音声でコンプレッションをトリガーすることも可能です。よりクリエイティブで高度な使いこなしアイデアにも対応できます。

Sidechain のコネクターは 1/8" TRS プラグ、Tip = send, Ring = return, Sleeve = ground です。

Parallel Compression

Compressor MKII の Mix ノブはパラレル・コンプレッションを可能にします。パラレル・コンプレッションは元のドライ信号とコンプレッションが行われた信号を並列でミックスすることで、様々な可能性の扉を開きます。有用な症例としては、Input を上げて強くコンプレッションがかかった状態にした後、Mix ノブでコンプレッションされていないドライ信号を少しブレンドしてください。サステインが増強されたエキサイティングなサウンドである一方、ナチュラルなダイナミクスとアタックを残した生き生きとしたフィーリングも感じられるでしょう。様々な設定を試してみてください！

起動時のバイパス状態を変更する

Compressor は電源投入時のバイパス状態を設定しておくことができます。変更にはフットスイッチを押しながら電源を入れてください。赤いゲインリダクション LED が光り、アドバンス設定モードに入ったことを表します。この状態でフットスイッチを押すことで以下のように切り替えます。

- ゲインリダクション LED 1: Compressor はバイパスで起動
- ゲインリダクション LED 2: Compressor はオンで起動

設定を終えたらフットスイッチを 2 秒長押しして設定を保存し、アドバンス設定モードを閉じます。

電源について

Empress Compressor MKII は 9VDC 電源(センターマイナス)で動作します。最低 100mA。

*本製品は独立した AC アダプタ(または完全アイソレートされたパワーサプライ)のご利用を推奨します。

www.empresseffects.com/power にて対応するパワーサプライをご確認いただけます。

Specifications

Input Impedance:	1M Ω
Output Impedance:	2.2k Ω
Frequency Response (-3dB):	10Hz - 20kHz
Distortion:	<0.1%
Noise:	-101dB
Headroom:	+15dBu
Input Voltage:	9VDC
Required Current:	100mA
Power Input Connector:	2.1mm Barrel Connector
Height (enclosure only):	1.5"
Height (including controls):	2.5"
Length:	4.8"
Width:	2.6"
Weight:	1lbs